



宇都宮ロータリークラブ会報

- 宇都宮ロータリークラブ 会長 町田卓大・幹事 大矢裕啓
テーマ「ロータリーの「縁」(えにし) ～ロータリーを成長させよう～」
- 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マロニー
テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」
- 国際ロータリー 第2550地区 2019～2020年度ガバナー 川嶋幸雄
テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」

例会日/火曜日 12:30 会場/宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12
事務所/宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F TEL 028-666-0555
E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2019年) 令和元年 10月 29日 2019～2020年度 No 15 (第 3309 回会報)

会員数 106名 出席者数 65名 出席率 67.7%

ビジター紹介 (親睦活動委員会 金子昌郎副委員長)

タマン・ラズ・クマリ様 (ゲストスピーカー)

会長挨拶 (町田卓大会長)

台風 19 号の爪痕がかなり未だ残っている今日ですが、先週私と幹事で当クラブ子クラブ栃木ロータリークラブ会長さんへ義援金 30 万円をお渡しして参りました。「有り難うございます」と感謝の言葉を頂きましたので、ご報告致します。2011 年東日本大震災が起きました時、神戸ロータリークラブさんより多額のご支援を頂きました。私共でもご協力できたらと、皆様へのご報告が後になってしまいましたが届けさせて頂きました。

昨日本を読んでいましたら、20 代で使ってはいけない言葉が載っていました。「忙しい・忙しい」「忙しい」の数と、その人の年収はハッキリするそうです。「忙しい」を 1 回言いますと、チャンスが失われるそうです。ロータリーの入会を誘われる時が「華」です。相手にされなくなると、終わりです。つまらないことを言ひまして、申し訳ありません。以上です。

幹事報告 (大矢裕啓幹事)

11 月 2 日、宇都宮さんま祭りが行われます。ご協力を頂いております気仙沼南ロータリークラブ様より、今回の台風 19 号のお見舞いのお手紙を頂きました。11 月 10 日、2550 地区の地区大会が開催されます。皆様にご参加のご案内をしておりますが、再度ご参加のお願いを致します。お車でご参加の方、又バスご利用の方は宇都宮駅東口 7 時 10 分に出発予定です。午前中のみのご参加でも結構ですので、宜しくお願い申し上げます。来年度、印出井会員がガバナー補佐として地区に出向されますので、ご協力をお願い出来たらと思います。12 月第 1 例会に総会が行われます。理事選任の総会ですので、会長・理事に立候補頂ける会員様は、是非とも私大矢まで申し出頂ければ幸いです。以上です。

社会奉仕委員会報告 (三井勝滋委員長)

栃木ロータリークラブさんの地域では、川の氾濫等大変な被害が出ております。本日、募金箱をおまわし致しますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。11 月 2 日のさんま祭りの件です。会員様以外に 40 名、学生さん 20 名のお手伝いご協力を頂いております。チャリティーもございますので、是非会場にお越し頂けたらと思います。今年は、気仙沼で今週水曜日と木曜日に水揚げされた「さんま」を賞味出来るのではないかと思います。当日、皆様のお越しをお待ちしております。宜しくお願い致します。

環境保全委員会報告（阿部欣文委員長）

さんま祭りに使用致します「エコバック」を多くの皆様にご協力を頂きまして、今会場入り口に沢山飾らせて頂いております。本当に有り難うございました。まだ、ご協力頂けます会員様、今日・明日と事務局にお持ち頂ければと思います。又11月2日の当日会場にお持ち頂いても結構です。今回、エコバックを多くの人達に使って頂く機会を目的としております。更なるご協力を宜しくお願い致します。

職業分類・会員増強委員会報告（新井将能委員長）

先日のクラブフォーラムでは皆様から貴重なご意見を頂き、本当に有り難うございました。こちらは、今年度用新入会員向けに当クラブの説明資料としてお使い頂くパンフレットが出来上がりました。今、皆様のボックスにお入れ致しました。予備もございます。以上です。

ニコニコボックス委員会報告（荒井規雄副委員長）

結 婚 祝：金子昌郎会員 荻山猛彦会員

奥様誕生祝：長谷部周彦会員

北出幸一様：宇都宮ロータリークラブ例会では、大変御世話になりました。

プログラム紹介（プログラム委員会 伊原修委員長）

本日は、タマン・ラズ・クマリ様にお越し頂いております。元米山記念奨学生です。演題は「私の考え方を変える日本」です。

米山記念奨学会委員会 稲野秀孝委員長

タマン・ラズ・クマリさんをご紹介します。ネパールのご出身です。ご家族は6人、4人姉妹の長女さんです。ご両親は、教育者です。ネパールでは女性の進学は難しいという事ですが、小学校中学校高校と進み、ネパールのトリブバン大学で教育学英語を学びました。日本への留学は2013年4月から1年間語学学校に通いまして、2014年4月に宇都宮大学に入学されました。4年間の課程を終え、2018年4月宇都宮大学大学院にすすみ、同時に米山記念奨学生として宇都宮ロータリークラブのカウンセリングが始まりました。この後は、草野様に



お願い致します。

前米山記念奨学会委員長 草野英二会員

昨年、クマリさんのカウンセラーを務めました草野です。クマリさんは6年前に日本に来られまして、日本語学校に1年、宇都宮大学そして大学院ではストリートチルドレンの問題を研究され、その実習の報告を皆さんにさせて頂きました。クマリさんは、母国語の他に英語や日本語を話されます。現在は、足利市でお仕事をされております。今日は、クマリさんの経験を通して感じた事をお話頂きます。

卓話「私の考え方を変える日本」

元 米山記念奨学生 タンマ・ラズ・クマリ様

皆さん、こんにちは。本日は「私の考えた日本」について、皆様にお話を致します。先ず、宇都宮ロータリークラブの皆さんには、大変御世話になりました。2018年4月よりカウンセリングを頂いた事、印出井パスト会長・飯村前幹事・岡崎パスト会長・町田会長には、沢山ご指導を頂きました。又善林様にもご挨拶の際、補助金の必要性やネパールで活かせる方法等沢山教えて頂きました。国際交流では、通訳や交流の方法を教えて頂き、グローバル



補助金の使い方も学びました。日本のお父さんである草野先生には、色んなご指導を頂き又悩み事を聞いて頂いたり、お食事を頂いたり、本当に有り難うございました。熊本さんにも、ネパールの貧しい子供達に応援できる事のご指導頂きました。宇都宮女子高校と文星芸術大学付属高等学校の学生さん達との交流も出来ました。募金活動も一緒にして頂いております。最初に宇都宮ロータリークラブさんに来た時には、全く考えていなかった事です。皆様には大変御世話になりまして感謝申し上げます。有り難うございました。

私は、ネパールのラリトプル郡という村で生まれました。家族は6人です。75歳のお祖父さんと72歳のお祖母さんもいます。お祖父さんとお祖母さんは農業が好きで、自分が生まれた所から離れたくないと、私が生まれた所で今も生活をしています。私達は町に引っ越しをしました。ラリトプル郡は、カトマンズの隣、北にある村です。そこには小学校が1校しかなく、女の子は1人でした。2時間の山道を越えて学校に行きました。私の友達は何学校へ行かなかったもので、私も行きたくありませんでした。両親が一生懸命学校に行かせようとしたお陰で、日本に留学をする事が出来ました。本当に有り難いです。その村の80%位の人がタマン族といい、殆ど勉強をしない、仕事としては農業もしない人達です。私達の所も85%の人達はタマン族で農業をメインとしていました。私が小学校3年の頃まで2時間の山道を通い勉強をしました。1998年からラリトプルという町に引っ越ししました。2013年まで、ここから通い大学もここから通いました。2013年、日本に留学をしました。こちらが私の通っていたカトマンズにあるトリブバン大学です。子供の頃から英語に興味があり、英語専攻で勉強をしました。日本に来てから日本語を勉強して、宇都宮大学に入りました。日本に来てびっくりした事は、道にゴミが無く綺麗な国だということです。優しく、礼儀正しい日本人に感動しました。初めてアルバイトをして、自分で独立しました。今迄、友達は私のまわりの人だけでしたが、日本に留学できたお陰で中国・タイ・ベトナム等いろんな国の人と友達になることが出来て、本当に嬉しかったです。ネパールにいた時の大学の授業は、先生の言う事が全てでした。そして、本に書かれている事を頭に入れることが第1と考えていました。日本の大学ではネパールと全く異なる環境で勉強が出来、自分にとって良かったと思っております。宇都宮大学で勉強出来たことで、米山奨学生として宇都宮ロータリークラブに御世話になることが出来ました。自分の人生で忘れることの出来ない事だと思います。こちらの写真は、宇都宮大学の重田先生が世界銀行へ連れて行ってくれた時の写真です。日本・中国・モンゴル・ネパール他の国の学生さんと一緒にの写真です。

私の留学前と留学後の事についてお話を致します。留学前の自分は日本の大学院を卒業した後、国に帰って先生になって幸せな人生を歩めれば良いと考えていました。家族と自分のまわりの方の事しか考えていませんでした。学校の授業は、先生が言っている事だけが全てと考えていました。大学でも政治家の影響が強く、学生はそれぞれの学校のグループに分けられて有りました。日本ではその様な事は全く無く、学校は平和で教育を受けられる場でしたので感動しました。ネパールでは、町の中でも多くのストリートチルドレンがいます。全て政府の責任で私達には何もする事が出来ず、その子供達は可哀想だと思っていました。宇都宮ロータリークラブに御世話になってから、この様な考え方が変わってきました。日本は綺麗な国でびっくりしたと言いましたが、ネパールでも1人1人がルールを守る様になったら日本の様に綺麗な国になれるのでは？と最近では考えています。大学の授業も先生だけが本を読み、先生が言ったことを書き取り、それを試験の為に覚えることでは無く、学生の考えを聞きながら学生がメインである授業であれば、自然と頭に入ってくる教育を受けられる一番良い方法では？と。この様に自分の中で考え方が変わってきました。世の中の貧しい人を支えよう、少しでも貢献しようとしている皆様の活動の集まりを見た事で、自分も小さな事から変えて行けるよう努力して継続できれば良い将来があるのでは？と変わってきました。皆さんが日本にいらして世界の国々を支援されている事に、とても勉強になりました。この後、国に戻ってから「教育を受けられない子供達の為に活動をしていこう」と云う気持ちが強くなってきました。

日本の生活の中で一番感じそして変わってきた事は、感謝の気持ちです。父と母が、私が勉強出来る様にしてくれた事は当たり前だと考えていました。日本で生活を始めて、父と母に感謝の気持ちを持たなければいけないという事を学びました。最近は日々の生活の中で、一つ一つに感謝を持つようになりました。

自分は本当に幸せで、そして周りの方に感謝の気持ちを持つ事で、沢山勉強になると思っています。この写真は、ロータリーの集まりで小学生の子供達と研究発表をした時の写真です。真ん中の写真は、宇都宮女子高校と文星芸術大学附属高等学校の学生さんが集めて下さった募金をネパールに帰った時に子供達に渡した写真です。右は、ライラセミナーに参加をした時の写真です。ネパールの学校へ渡した募金がどのように使用されたかの書類を送って頂き、宇都宮女子高校と文星芸術大学附属高等学校へお渡しした時の書類です。日本からネパールへは、飛行機で13時間かかります。これはネパールの学校です。2015年の大地震で被害を受け、新しい建物を建てています。こちらが JICA によって新しく建てられた学校です。この学校に通じる道は全て大雨で通る事が出来なくなり、3週間ぐらい学校を休んだところです。私は日本に来て、いろんな事が大きく変わりました。ネパールも国をあげて皆が留学出来るようになれば、少しずつ変わっていくかと思えます。宇都宮ロータリークラブの皆様、本当に有り難うございました。今後も宜しくお願い致します。

【10月卓話】

10月29日(火) 米山記念奨学生 活動報告
クマリ様 米山記念奨学生

【11月卓話】

11月5日(火) 未定
パトムワンロータリークラブより来訪

11月12日(火) 休会

11月19日(火) 未定
神長善次様 元オマーン・ネパール大使

11月26日(火) 会員卓話
谷田部幸男会員 (株)関電工 栃木支店 支店長

【今日の食事】



ポークジンジャー
ライス スープ サラダ

会報担当：小野 真一 会員

画像担当：菊池 芳幸 会員